



2020年3月9日

報道関係各位

この資料は、クックメディカル(米国・ブルーミントン)が2020年3月9日(現地時間)に発表したものを日本語に翻訳・要約したもので、参考資料として提供するものです。資料の内容および解釈については英語が優先されます。

クックメディカル、患者さんと顧客により近く 日本法人のリーダーシップと会社形態及び社名を変更

東京発- 2020年4月1日、Cook Japan 株式会社はクックメディカルジャパン合同会社へ社名変更する運びとなりましたのでお知らせします。また、ウィリアム・グレッグ・マリナックスがCOO(最高執行責任者)に就任しましたので併せてお知らせします。マリナックスは副社長兼アジア太平洋地域ディレクターのジャン・マルク・クレセルにレポートします。

新しい役割においてマリナックスは、カスタマーエクスペリエンスと患者ケアを高める、真に近代化された会社として日本のチームを率い、オペレーショナル・エクセレンスを達成します。

クレセルは次のように述べています。「グレッグは日本の医療機器業界と日本文化について深い造詣を持っています。」「彼と彼のチームは、最高水準の製品品質、倫理、およびサービスを通じて、日本の医療と患者さんに貢献すると確信しています。」

マリナックスは医療機器業界で25年以上のリーダーシップの経験があります。このたびの新しい役割に加え、マリナックスは2013年からアジア太平洋地域の薬事担当ディレクターも担っています。クックメディカルに入社する以前、彼はドイツ、イスラエル、イギリス各企業の日本法人の社長を務め、日本のビジネス習慣、文化、市場についての洞察を得ました。彼は国際基督教大学(ICU)を卒業し、日本語の読み書きと会話に堪能です。また、ミシガン大学ロースクールで法学博士号を取得しており、米国イリノイ州弁護士会の会員です。

2020年4月1日、クックメディカルは日本法人の会社名称と会社形態を「Cook Japan 株式会社」から「クックメディカルジャパン合同会社」へ変更します。

「社名の変更はグローバルなヘルスケア企業としての明確なパブリックイメージを確立するのに役立ちます」とマリナックスは述べています。文字表記もアルファベットからカタカナに変更されます。カタカナは外国語の単語を書き写すための、日本語の表記体系のひとつです。「このたび会社名称を変更することで、患者さんや顧客だけではなく、新たな人材を引き付けるために、市場での存在感と評判を高めることができます。」とマリナックスは付け加えました。

◆変更内容

新会社名称: クックメディカルジャパン合同会社(英文表記: Cook Medical Japan G.K.)

職務執行者: 最高執行役員 ウィリアム・グレッグ・マリナックス(William Greg Mullinax)

変更年月日: 2020年4月1日

※所在地、資本金、事業内容等に変更はありません。

クックメディカルについて

クックメディカルは 1963 年に米国インディアナ州ブルーミントンで設立されました。最初の製品はガイドワイヤ、ニードル、カテーテルでした。現在はおもに低侵襲、インターベンション、経皮的カテーテル治療分野の治療製品・診断製品を世界 135 カ国に供給しています。

クックグループは世界中に 12,000 名を超える社員を擁し、日本では 2004 年から事業を展開しています。私たちは倫理的かつ起業家精神をもった家族経営の企業であり、人々やコミュニティが、それぞれの可能性を最大限発揮できるよう支えるために存在しています。

私たちはユニークな医療機器ポートフォリオを開発・製造し、世界中のヘルスケアシステムにお届けします。患者さんに貢献できることは私たちの誇りであり、そのために行うことすべてにおいて、最高水準の品質・倫理・サービスを追求します。

詳細はウェブサイトやソーシャルメディアをご覧ください。

ウェブサイト <http://www.cookmedical.co.jp/>

Facebook <https://www.facebook.com/cookmedicaljapan/>

お問い合わせ先

コーポレートコミュニケーションズ

E-mail: JPN-CorporateCommunications@CookMedical.com